

## 議事録

### 会議名：第9回中四国学生剣道連盟理事会

- 日 時：2001年12月8日PM2時00分より
- 場 所：広島県立総合体育館 B1F 中会議室
- 構成員：34名
- 参加者：腰山静雄、湯村正仁、木谷直俊、渡辺道徳、橋本健蔵、小倉 肇、大元輝民、榊 康守、三浦利雅、木原資裕、山神眞一、石井博貞、境 英俊、元山正樹、青陽 静、濱野圭一郎、谷佳奈枝、井門篤志、 轟 項平、山口真由、内田行俊、田中真之、竹村諭思、竹田洋志、 徳淵達啓、宮川拓将、内田博之（以下委任状により出席と見做す） 産賀敏彦、若 良二、草間益良夫、森 正典、山本城輔  
以上33名、欠席者：高澤貞三以上1名

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。慣例に倣い会長の腰山静雄を議長、理事長の小倉肇を進行役として議事が進められた。

#### ● 記 録

氏名：山口真由

E-mail：ube-ihi@sage.ocn.ne.jp（不明点はこちらへ）

### Summary：

- 議題1：全日理事交代の事後承認及び中四理事交代の件について
- 議題2：第8回理事会議事録確認
- 議題3：全日理事会報告
- 議題4：全日オープン大会について常任理事会報告
- 議題5：中四国学生剣道 Challenge Cup について
- 議題6：全日本学連剣友会理事会報告
- 議題7：中四学連剣友会理事会及び剣道大会報告
- 議題8：その他

## 1. 全日理事交代の事後承認及び中四理事交代の件について

10月1日付で大塚忠義常任理事より一身上の都合により辞任したい旨の届け出があり、全日の理事会が10月・11月とあるため会長の判断で四国地区から木原資裕常任理事に代役をお願いした。また、高知からの理事として、橋本健蔵先輩を推薦したい旨報告があった。以上の件、平成15年9月までの任期で承認した。尚、全日50周年記念誌編集長も木原資裕理事への交代を全日に申し入れた。

## 2. 第8回理事会議事録確認

第8回理事会議事録を異議なく承認した。

## 3. 全日理事会報告

報告者：木原資裕

- (1) 「世界学生剣道親善研修会」は平成14年7月に開催されるが、国内の留学生に対して参加の募集をすることになり、中四加盟団体への紹介を打診。
- (2) 全日東西対抗試合の出場選考について、関東・関西より全国的に統一すべきではないかとの提案があった。
  - ・ 関東関西では検討委員会で選手権大会（全日予選）の結果に関係なく選考している。
  - ・ 関東関西のように加盟大学の多い連盟と地方（中四etc.）のような加盟大学の少ない連盟とでは事情が違うので統一する必要があるのか？
  - ・ 中四では選手権大会（全日予選）の結果を参考にしつつ選考しては？
  - ・ 学生に全日本東西対抗についてのアンケートをお願いしているので、これを参考として、両全日担当理事に一任する。結果は後日報告することとした。

## 4. 全日オープン大会について常任理事会報告

- (1) 前回第8回理事会において中四国常任理事会で検討して、今回の理事会に報告することになっていた。
  - ・ メール常任理事会をおこなった結果、積極的にオープン大会を中四で開催する意見はなかった。その結果、中四ではオープン大会を引き受けないことにした。
- (2) 修正
  - ・ 「現時点では当分の間、主管を引き受けない。」

## 5. 中四国学生剣道 Challenge Cup について

報告者：山神眞一

### (1) 学生幹事会の報告

- ・ 前回理事会で出された案を幹事会で話し合った結果、今までのとおりで行ってほしいとの結論であった。

### (2) 運営上の問題もあるが、参加資格について大会創設時の主旨とずれてきている。 大学4年間で1度も出場できない学生のために創設した大会に1年生が多く出場するようになった。本日の幹事会で再度大会担当理事から検討を申し入れることとする。

## 6. 全日本学連剣友会理事会報告

報告者：小倉 肇

- (1) 11月10日名古屋において、橋本龍太郎全日本学連剣友会会長を議長として、規約案及び役員案が正式に承認され、同日会の発足となった。
- (2) 地域の分担金については、各支部（各地域）の会員数で割り当てられることになる。中四学連剣友会は6万円ぐらいになると思われる。
- (3) 中四学連剣友会の会員数は昨年実績で250名。収入は入会金及び大会時に各大学の年会費として広告をお願いする。
- (4) 全日本学連剣友会理事会へ出席する旅費交通費は、全日本学連剣友会副会長になっている各支部（各地域）の会長は各地域連盟（中四国学生剣道連盟etc.）から交通費が賄われている。理事が全日本大会の役員になっていない場合は各支部（中四学連剣友会etc.）で賄う。
- (5) 平成15年度に向けて全国大会（東京）を開催する準備をする。大会の詳細はこれから検討する。

## 7. 中四学連剣友会理事会及び剣道大会報告

報告者：小倉 肇

- (1) 11月23日岡山において、吉田正麿中四学連剣友会副会長を議長として、規約案及び役員案に安藤昌明先輩（國士舘大学）を会長指名理事として修正されて正式に承認された。
- (2) 全日本大会の形式（7人戦・5人戦・3人戦etc.）が話し合われ、中四学連剣友会剣道大会の形式を如何にすべきか？
- (3) 中四学連剣友会剣道大会が全日の予選とした場合、上位4チームは無条件で出場できるようにし、もし全日に8チーム出場できるとすれば、4チームは中四出身大学を選考するようにする。予選大会の形式も今後検討することとなった。
- (4) 第3回大会の結果は、今回の新人戦大会のプログラムに、また、ホームページに掲載されている。
- (5) 来年の大会は12月1日松山にて開催することが決定している。

## 8. その他

### (1) 来年度の予定

平成14年5月19日 選手権大会

平成14年9月8日 優勝大会

平成14年12月9日 新人戦

### (2) 中四国学生剣道連盟規約改正について

ワーキンググループで早急に作業を進めて、5月に決定できるようにして頂きたい。

以上の議事を終え、本会は午後2時57分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 13 年 12 月 8 日

中四国学生剣道連盟 第9回理事会

署 名 人 木 原 資 裕

署 名 人 井 門 篤 志

### 次回 MTG

日 時：2002年5月18日

場 所：高松市総合体育館・第7会議室

以上